



GOVERNORS Monthly Letter

# ガバナー月信

Revival



5 2026  
月発行  
vol.11

2025-2026 年度 RI 会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」



## GOVERNOR'S Monthly Letter



よいことのために  
手を取りあおう

Rotary

フランチェスコ・アレツォ RI 会長と。

国際ロータリー第 2510 地区 2025-2026 年度ガバナー 玉井 清治

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail : rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

# ガバナー月信 vol.11 目次

## IM 報告



### 第6グループ IM 報告

国際ロータリー第 2510 地区 2025-2026 年度  
第 6 グループ ガバナー補佐

**笈川 長生** (小樽銭函 RC)



### 第3グループ IM 報告

国際ロータリー第 2510 地区 2025-2026 年度  
第 3 グループ ガバナー補佐

**西方 洋昭** (岩見沢 RC)



### 第4・5グループ IM 報告

国際ロータリー第 2510 地区 2025-2026 年度  
第 5 グループ ガバナー補佐

**菅原 秀二** (札幌大通公園 RC)



## 米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会



### 米山記念奨学生・ 新カウンセラー合同オリエンテーションについて

国際ロータリー第 2510 地区  
地区米山記念奨学・学友委員会

委員長 **三浦 信一** (札幌清田 RC)



## OTHER CONTENTS

- |   |                                  |
|---|----------------------------------|
| ■ ガバナーメッセージ ..... 1p                          | ■ ハイライトよねやま ..... 7p             |
| ■ 第 6 グループ IM 報告 ..... 2p                     | ■ コーディネーター NEWS ..... 9p         |
| ■ 第 3 グループ IM 報告 ..... 3p                     | ■ 3 月会員数・例会数報告 ..... 12p         |
| ■ 第 4・5 グループ合同 IM 報告 ..... 4p                 | ■ 地区カレンダー 5 月・6 月 ..... 13p      |
| ■ 米山記念奨学生・新カウンセラー<br>合同オリエンテーションについて ..... 5p | ■ 新会員のご紹介 / 例会場変更のお知らせ ..... 14p |
| ■ 3 月米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付 ..... 6p             | ■ 文庫通信 / ガバナー事務所からお願い ..... 15p  |



### 今月の写真「手稲駅」

札幌西部に根ざす手稲駅。この一枚は、新たな駅舎へと生まれ変わった瞬間を捉えたものです。古き良き歴史を礎に、新しい時代へと歩みを進める姿は、まさにロータリーの精神そのものです。この風景に重ねてその想いを感じます。

撮影日 平成 25 年 6 月 30 日：玉井ガバナー



## 青少年への投資、それは未来そのもの

— 希望を託すロータリー —

国際ロータリー第 2510 地区  
2025-2026 年度 ガバナー

**玉井 清治**

(函館亀田 RC)

新緑が目まぶしい季節となりました。会長・幹事、そして貴クラブの会員の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、5月は「青少年奉仕月間」です。ロータリーは創立当初から、青少年に深い関心を寄せ、さまざまな形で支援を続けてきました。その起点ともいえるエピソードは、1908年、あるロータリアンが貧しい新聞売りの少年を助けたことに始まります。その行動が、やがて身体障害児支援や、ボーイスカウト運動支援へと広がり、さらには1962年にインターアクト、1968年にローターアクト、1974年にはRYLA（青少年指導者育成プログラム）誕生へと続きました。ロータリーの青少年奉仕は、単なる支援活動ではありません。未来を担う若者たちに「世界を広く見る目」と「奉仕する心」を育む機会を提供する、いわば未来への最大の投資です。

標準ロータリークラブ定款第6条に定められる「青少年奉仕」は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト、国際奉仕プログラムを通じて、若者自身の手で好ましい変化をもたらすことを支援するものです。RYLAをはじめとするプログラムは、単に次世代のリーダーを育てるだけではありません。若い世代に希望と自信を与え、地域社会や国際社会に積極的に関わる力を育てるものです。

また、ロータリー青少年交換プログラムに参加した学生たちは、異なる文化・価値観に触れ、大きく成長し、やがて世界に通じるリーダーへと羽ばたいていきます。これらの活動は、若者だけでなく、その家族や地域全体にも好影響をもたらします。「青少年への投資は、地域の未来への投資」そのものなのです。

近年、「新世代奉仕」という表現が使われたり、再び「青少年奉仕」に戻ったりと多少の混乱もありましたが、本質は変わりません。ルイス・ビセンテ・ジア元 RI 会長が語ったように、「新世代への投資こそ、未来を築く最大の鍵」であることに変わりはないのです。

今、私たちは「リバイバル原点回帰」の旗のもと、もう一度原点に立ち返り、未来に向かう覚悟を新たにする時です。クラブにおいても、ぜひ次年度へ向け、インターアクトへの支援、青少年交換プログラムの推進、RYLA セミナー参加の促進、青少年関連プロジェクトの新規立案など、積極的な取り組みをお願い申し上げます。



## 第6グループIM報告

国際ロータリー第2510地区 2025-2026年度  
第6グループガバナー補佐

笈川 長生 (小樽銭函 RC)

2026年3月21日(土) グランドパーク小樽において第6グループインターシティミーティング(IM)を小樽銭函RCをホストクラブとして開催されました。

この度は、第6グループIMへ御参加頂きまして誠にありがとうございます。無事に終了することが出来まして安堵しているところです。御参加頂きました第6グループ各ロータリークラブの皆様充分楽しんで頂けましたでしょうか。

2025-26年度も残す所2ヶ月余りとなりましたが、各クラブ訪問、新旧会長・幹事会などの行事が残っておりますので、引き続き御協力の程よろしくお願いたします。

IMにおいては、基調講演に、街歩き研究家で北海道科学大学工学部客員教授の和田哲様をお招きし「後志おもしろ歴史散歩」と題して、後志の歴史をひもといていただき大変感動し目から鱗の講演内容で興味を持って50分間聴く事が出来ました。御講演頂きました和田哲様に感謝致します。講演内容を一部紹介しますと、小樽の地名の由来や「餅店」が何故小樽には多かったのか、炭鉱港として鉄道が結ばれ道内産炭地との交通手段として小樽が発展し当時積出港として道内有数の港になったことや、「羊蹄山」の名前の由来は、蝦夷地(えぞち)の後方羊蹄山(しりべしやま)の呼び名を後方で「しりべ」羊蹄で「し」と読むため、名前が読みづらいため今の羊蹄山(ようていざん)になった事、その他北海道の北部はその昔女人禁制だった事や、余市と会津若松との関係など、後志の歴史を知ることは先人達のご苦勞を知り、今の後志の基礎を作りあげてきた事を改めて認識しました。

本年度の地区テーマである「Revival」原点回帰とは、まさにこうした過去の歴史の学びの中にあるのだと改めて気づかされ、今後その経験を活かしてこの緑豊かな土地に新幹線や高速道路が開通されれば、また新たな後志が構築され今後の第6グループの発展に繋がって行く事を期待しております。

最後にIM開催に尽力されたホストクラブである我が小樽銭函RCの仲間に感謝致しますとともに、御参加頂きました玉井ガバナー、第6グループの各ロータリークラブの皆様方へ感謝申し上げます。





## 第3グループIM報告

国際ロータリー第2510地区2025-2026年度  
第3グループガバナー補佐

西方 洋昭 (岩見沢 RC)

3月28日(土)、岩見沢RC主催による第3グループのIMがホテルサンプラザにて開催されました。当日は御来賓として松野岩見沢市長、地区役員は玉井ガバナー、古野ガバナーエレクト、安孫子パストガバナー、嵯峨パストガバナー、福井パストガバナー、沢田ガバナー補佐、松永地区新会員研修委員長に御出席賜り、第3グループ8クラブ183名の登録をいただき盛大に開催することが出来ました。今年度のIMテーマは「活」とさせていただき、今まさに活躍されている講師、活発にロータリーに取り組むロータリアン、クラブで活躍されているメンバー、生き生きとロータリーライフを楽しむメンバーに光を当てることで、参加したロータリアンと各クラブが生き生きと活性化。その様な設えでインターシティミーティングは素敵なロータリアンに出会える場、楽しく友情が育まれる場であると認識され、毎年出席することが楽しみになるようなIMを目指して取り組みました。



基調講演では上川大雪酒造の塚原敏夫社長にお越しいただき「逆境をチャンスに変える地域創生」というテーマで、塚原社長が人と人との繋がりで逆境を乗り越えチャンスに変えてきた経験や、現在も様々なプロジェクトに果敢に取り組み、生き生きと活躍されているお話しをしていただきました。塚原社長の講演の後、通例ではクラブ会長が壇上に上がりパネルディスカッションをする流れですが、正直、聞いていてあまり楽しいものではなく、眠くなる。そこで今回はオープンディスカッションとして玉井ガバナーと私が壇上で会場内の各クラブから推薦された生き生きとしているメンバーとのオープンなディスカッションをさせていただきました。各ロータリアンからは生き生きと楽しむ取り組みやロータリアンとしてのこだわり、どの様に活躍されているか等、様々なネタで玉井ガバナーとのやり取りがあり、話しに熱が入りすぎて予定時間をオーバーするほど多に盛り上がる楽しい一時となりました。その後、次年度ガバナー補佐紹介、次期開催地発表と開催地クラブ会長挨拶にて式典の部は終了。懇親会では基調講演講師の塚原社長からご提供いただいた淡いピンクの日本酒で乾杯、そしてマグロをはじめとする美味しい料理に舌鼓。アトラクションとして8クラブの会長からご提供いただいた商品をオークションにかけるとしてオークションを開催。オークションの進行は仲屋IM実行委員長と私との2人の掛け声と共にテンポ良く値段が上がって会場は大盛り上がり。その結果、合計収益は21万円。その収益金をポリオ根絶に向けた8クラブ合同寄付金として仲屋IM実行委員長より玉井ガバナーへ贈呈させていただきました。そして懇親会の締めくくりは大きく輪になって「手に手つないで」の大合唱。最後に嵯峨パストガバナーの締めの挨拶にてIMの全日程が終了となりました。今年度のIMは、とにかく楽しく、笑い笑顔が溢れ、また来年も参加したいと思えるIM。グループ内には楽しい友、愉快的友、愛すべき友が沢山いるんだと感じてもらえる場になったと思います。このような楽しみになるIMが毎年続いていくことを心より願っています。





## 第4・5グループIM報告

国際ロータリー第2510地区2025-2026年度  
第5グループガバナー補佐

菅原 秀二 (札幌大通公園 RC)

2026年4月4日(土)、札幌パークホテルにおいて、2025-26年度国際ロータリー第2510地区第4・5グループ合同 Intercity Meeting が開催されました。当日は、玉井清治ガバナーをはじめ福井敬悟パストガバナー、石丸修太郎パストガバナー、出村知佳子パストガバナー、また第2グループから沢田広志ガバナー補佐を来賓としてお迎えし、450名以上の会員のご登録をいただきました。また、当グループ内の10クラブからは全員登録をしていただきましたことに感謝しております。さらに、他グループのクラブやローターアクトや衛星クラブの会員からもご登録いただいております。このIMが幅広い皆様の関心を惹き、成功裏に終わったことについても感謝の気持ちでいっぱいです。



今回のテーマは「予防医学の最前線—健康と平和を求めて—」でした。玉井ガバナーの地区テーマ「Revival (原点回帰)」を受けて、ロータリーが長年取り組んできた「健康」と「平和」を扱うことによって、そのテーマを具体的な形にしたいと思ったからです。第1部では「アンチエイジング医療」の最前線をホストクラブの会長でもある森田祐二医師と米山学友会会長の陶恵栄医師から講演をいただき、西洋医学と東洋医学の視点の相違について学修することを狙いとしました。お二人ともいろいろな場所で講演されていることもあって、大変興味深いお話を展開されました。残念ながら少し時間が足りなかったようです。フロアを巻き込み、お二人とのディスカッションの時間が取ればもっと良かったかな、と思っております。続く第2部では「医学と教育がつくる平和な未来へ わたしたちにできること」と題して、セッションスピーチ&パネルディスカッションを展開しました。セッションスピーチは財団学友で現在「国境なき医師団」で活躍されている吉井啓太医師をお迎えして、健康と紛争予防の最前線についてご報告いただきました。それを受けて、吉井さんが財団学友ということもあり、財団学友会を代表して私と旭丘高等学校教諭の菅原桂子先生、海外でご活躍中のロータリアン&ローターアクターの中島さんと4人のパネラーにより教育まで話を広げて、当該テーマを追求することとなりました。モデレーターの労を取られた出村パストガバナーにも感謝申し上げます。大変興味深く刺激的なディスカッションになったのではないかと自負しております。

その後、懇親会になりましたが、思った以上に出席者が多く、少し料理が足りなかったのが反省点でした。ただ、ジャズ演奏をしていただいた「小笠原昂平 with Stunning Beats」が素晴らしい音楽だったので、ご参加の皆様も、しばし食べるのも忘れて聞き入ってしまったのではないかと思います。希望的観測かもしれませんが。

このIMにご登録・ご出席いただいた皆様のこれからのロータリー活動に何らかのインパクトを与えることができましたら、これにまさる喜びはありません。実行委員会一同、皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。





## 米山記念奨学生・新カウンセラー合同オリエンテーションについて

国際ロータリー第 2510 地区  
地区米山記念奨学・学友委員会

委員長

**三浦 信一**  
(札幌清田 RC)



2026 年 4 月 5 日、2026 学年度米山記念奨学・カウンセラー合同オリエンテーションを実施致しました。

新奨学生と世話クラブ・カウンセラーとの最初の対面の場であり、奨学生は奨学期間中の義務・注意事項の説明を受け、それらを遵守する旨の誓約書に署名し提出することにより、米山奨学生としての 1 年ないし 2 年の奨学期間が正式に開始することとなります。

今年度の新奨学生 14 名。国籍別では、中国 3 名、韓国 2 名、ミャンマー 2 名、米国 2 名、ベトナム 1 名、インドネシア 1 名、モンゴル 1 名、台湾 1 名、フィンランド 1 名です。

本奨学制度は、他国との相互理解と親善を目的とし、外国人の留学生を支援し世話クラブ・カウンセラー制度を通じてロータリー会員との交流を重視し、よって「人を育てる」ことを主たる目的としています。単に、奨学金を支給するのではなく、ロータリー会員との交流を深めることにより、教室や研究室で学べる以上の事を経験してもらい、それらを通じて、日本・日本人の理解を深めてもらい、将来、奨学生の母国のみならず世界と日本との懸け橋の役割を担える人となってもらうことを目的とするところです。

オリエンテーション前半では、最初に、新カウンセラーのみでオリエンテーションを行い、改めてカウンセラーに本奨学制度の意義、奨学生に求められること、その為に奨学生に課せられる義務注意事項等を説明し、奨学生がそれらを全うし、ロータリー会員との交流を深め、本奨学制度の目的を達することができるよう指導・アドバイスすることがカウンセラーの役割であること。又、ハラスメント問題に関しては、現在、極めて重要視されており、十分な配慮が求められる等を改めて御理解いただきました。

休憩時間中に、奨学生とカウンセラーが初めて対面し（奨学生・カウンセラーにとって最も緊張するときだったでしょう）、後半の奨学生・カウンセラー合同のオリエンテーションにおいて、この米山奨学金制度は日本のロータリー会員の寄付によって成立しており、日本のロータリー会員の奨学生への期待が込められていること、本奨学制度の意義目的が学業のみならずロータリー会員との交流を深め、日本を理解してもらうことであり、その実現のため、最低でも月に一度世話クラブの例会に出席し（奨学生世話クラブを依頼するクラブが特定の地域のクラブにならざるを得ない理由の一つなのですが）、地区大会、その他ロータリーの事業活動に積極的に参加し、卓話等の依頼があったときは積極的に応じること、その他奨学生としての義務注意事項の説明がされました。

歓迎会においては、緊張が少しほぐれ、関係者間の懇親を深めてもらえたかと思います。奨学生がこの制度本来の目的に相応しい奨学期間を全うすべく、そのために奨学生・世話クラブ・カウンセラーと共に米山委員会は努めていきます。

## 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

### 米山功労者

札幌西北 R C	小川 眞治	会員	(12 回)	3 月 31 日
札幌手稲 R C	福井 敬悟	会員	(31 回)	3 月 27 日
札幌南 R C	服部 直毅	会員	(1 回)	3 月 30 日
静内 R C	中畑 譲司	会員	(1 回)	3 月 26 日
室蘭 R C	中野 達雄	会員	(3 回)	3 月 25 日

## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

### マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

江別 R C	平賀 俊尚	会員	(3 回)	3 月 26 日
函館 R C	堀田 剛史	会員	(2 回)	3 月 11 日
函館 R C	加藤 憲孝	会員	(4 回)	3 月 25 日
函館五稜郭 R C	星井 英人	会員	(3 回)	3 月 30 日
函館五稜郭 R C	河村 隆平	会員	(5 回)	3 月 30 日

### ポール・ハリス・フェロー

滝川 R C	神部 志乃信	会員		3 月 27 日
函館五稜郭 R C	鈴木 新太郎	会員		3 月 30 日



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライトよねやま

vol. 313

2026年4月13日  
発行

## 1 台北国際大会 ブース出展決定 & 分科会開催時刻変更

6月13日から17日まで開催されるロータリー国際大会（台北国際大会）において、友愛の家でのブース出展が正式に決定しました。ブース番号は「106番」です。会場マップ等の詳細が公開されましたら、改めてお知らせいたします。

ご来場いただいた方には、数量限定で記念グッズを配布予定です。当事業と米山学友の活躍を広く発信する貴重な機会となります。ご来場をお待ちしています。

また、6月15日（月）に開催が決定している当財団の分科会の時刻が変更となりました。開催時刻は**11:00～12:00**です。ご注意ください。

6月12日（金）には、台湾米山学友会主催の歓迎懇親会が、上海鄉村餐廳 承德本家にて18時30分から開催されます。登録期限は**4月30日（木）**まで。詳細はQRコードからご確認ください。

### 台湾米山学友会主催 歓迎懇親会

6.12

- ・2026年6月12日（金）18:30～
- ・上海鄉村レストラン 承德本家
- ・参加費：NT\$1,600（¥8,000）/名

ご登録はこちら  
期限：4月30日まで

6.13

### 友愛の家 ブース出展

● 2026年6月13～17日 09:00～18:00 ※17日のみ-14:00

17

● 台北南港展覽館(TaiNEX) **ブース番号 #106**

※お立ち寄りいただいた方には記念品をお渡します（数量限定）

### 国際大会 分科会

※時間が変更になりました

6.15

● 2026年6月15日（月）**11:00～12:00**

分科会タイトル 広がる基盤・つながる世界

～ロータリーとともに歩むロータリー学友の実践～

登壇者（米山学友）



林岳毅さん  
RID 3461 台北文中RC  
台湾米山学友会 常務理事  
(台湾/2000-01/札幌清田RC)



フィンティミーハンさん  
ベトナム南米山学友会 副会長  
(ベトナム/2001-02/金沢みなとRC)



朴貞子さん  
RID2750 東京米山学友会RC  
第3回米山学友による世界大会  
再会in関東 実行委員長  
(中国/2006-08/岸和田RC)



バヤンバット、  
トゥメンデルゲルさん  
RID3450 フレーRC  
モンゴル米山学友会 会長  
(モンゴル/2014-15/大阪東RC)

## 2 2026 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2026 学年度の奨学生は 969 人となりました。新規採用者 682 人、継続者 287 人です（4 月 6 日現在）。国・地域別では、中国 32.4%、ベトナム 13.9%、韓国 12.6%、ミャンマー 6.5%、インドネシア 5.0%、ネパール 3.8%、モンゴル 3.7%、マレーシア 3.5%、台湾 3.2%、スリランカ 2.4% の順となり、全 54 カ国の採用となりました。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学生が 914 人（学部 473 人、修士 282 人、博士 159 人）、地区奨励奨学生が 25 人、クラブ

支援奨学生が 12 人、海外応募者対象奨学生が 17 人、海外学友会推薦奨学生が 1 人となっています。4 月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。新たな奨学生たちを、どうぞ温かくお迎えください。

## 3 寄付金速報 — 今年度も残り 2 カ月半 —

前年同期比

-1.8%

普 +1.0% 特 -3.2%

3 月末までの寄付金は前年同期と比べて 1.8% 減（普通寄付金：1.0% 増、特別寄付金：3.2% 減）、約 1,950 万円の減少となりました。

た。当月は、1,000 万円の寄付を含む大口寄付が 3 件あり、3 月単月の寄付額は 2000 年度以降初めて 7,000 万円を超えました。皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。引き続き、当事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

## 4 当財団への寄付により紺綬褒章を受章

長年にわたり、当事業に多大なるご支援を寄せてくださっている第 2550 地区宇都宮 90RC の飯村 慎一氏が、2025 年 10 月 25 日付で紺綬褒章を受章しました。

3 月 23 日の同クラブ例会にて伝達式が行われ、出席した当財団の若林紀男理事長から紺綬

褒章に付する飾版が伝達されました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人または団体に対して天皇陛下より授与される褒章で、当財団は 2018 年 9 月に紺綬褒章の公益団体認定を受けています。心よりお祝い申し上げます。

## 5 奨学期間を終え、新たなステージへ

卒業の時期を迎えた 3 月、全国各地で米山奨学生の奨学期間終了に伴う式典が開催され、多くの米山奨学生が新たなステージへと歩み始めました。今回は、国際ロータリー第 2510 地区の様子をご紹介します。

3 月 8 日、札幌市内で米山記念奨学生終了式が開催され、米山奨学生 17 人をはじめ、ロータリー会員 40 人と米山学友 2 人が出席しました。式は、当財団の嵯峨義輝理事の挨拶で始まり、奨学生には終了証書が、カウンセラーには感謝状がそれぞれ授与されました。その後の歓送会



では、奨学生とカウンセラーがこれまでの思い出や感謝の言葉をスピーチし、会場は心温まる雰囲気になりました。また、北海道大学に在籍する奨学生が、同大学史上初となる外国人留学生の首席卒業を果たし、卒業論文でも最優秀賞に輝いたことが報告されると、会場からは大きな拍手が送られました。札幌モーニングRC

に所属し、この日出席した米山学友の鄭子龍ジョンジャリョンさんは、「卒業した米山奨学生たちが、それぞれの道で国際社会に貢献してくれることを期待しています」と、後輩たちへエールを送りました。

## 6 マレーシア米山学友会 創立 10 周年記念総会開催

3 月 15 日、マレーシア・スレンバンにてマレーシア米山学友会の創立 10 周年記念総会が開催されました。当財団からは若林紀男理事長が出席したほか、日本からも多数のロータリー会員が集結。また、オンライン配信を通じて各地の米山学友も参加し、総勢 50 人が節目を祝いました。



式典は、会長の黄建榮ンクアンユンさん（1998-2000/室蘭東RC）の挨拶で幕を開け、若林理事長が祝辞を述べた後、活動報告や会計報告が行われ、終始和やかな雰囲気の中で進行されました。

総会に先立ち、前日にはスレンバン博物館を訪問した後、現地の老人ホーム施設を見学。高齢化社会という課題に直面するマレーシアの民間施設を支援するため、同学友会から約 7 万円の寄付金が贈呈されました。夜には晩餐会が開催され、マレーシアの米山学友たちが伝統衣装「バティック」を、海外からの参加者もそれぞれの民族衣装を身にまとい、華やかな雰囲気の中で交流を深めました。

2016 年の学友会設立時に 39 人だった会員数は 10 年を経て 100 人を超える規模へと成長しており、マレーシア米山学友会のさらなる飛躍が期待されます。



民族衣装に身を包んで参加

## 第1地域 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 花田 勝彦（五所川原 RC）

「花田さん、ロータリーの件なんだけどさ、来年、何か役割決まってる？」

田中久夫 RMC から ARMC の打診のご連絡をいただいたのは、ガバナー年度が年度半分終わる 2024 年の大晦日のことでした。我が 2830 地区は、その年の 1 月の RI 理事会で、2026 年 7 月 1 日に会員数が 1,100 名に達しなかった場合は、隣接地区と合併することに同意するという決議がなされ、まさに緊急事態でした。地区として会員増強の崖っぷちに立たされていたガバナーですから、そのような経験が、良い意味で他の地区にも還元できるのであればと考え、ARMC の就任を承った次第です。

会員増強にとって大切なことは、クラブが魅力的であり、クラブの会員が地域で一目置かれる存在であること、そのような人が多く集まるクラブには、入会を希望する会員候補者が自然と多く現れるはずであると考えています。ロータリーを自分磨きのための適切な場所とするためにも、自分自身の一挙手一投足が見られているという意識をもち、立ち振る舞いや話し方にも気をつける。また、楽しくなければロータリーは続きませんから、仲間を増やし、大いに親睦を深めることも大切です。本来は、このようにして自然に会員が増えていくことが望ましいと思っているのですが、それも今のままの地区があってこそ、という面もあります。2013 年の規定審議会で、地区の最低会員数を 1,200 名から 1,100 名に修正してもらうことに成功したのは、ほかならぬ 2540 地区と 2830 地区です（決議 13-109）。その 2 つの地区が、今 1,100 名を下回ることで地区合併の危機に立たされています。ここは何としても乗り越えていきたいところです。

会員を増やすための具体的な方策としてまず考えられるのは、衛星クラブの設立でしょう。8 名の会員候補者を集めて、従来型のクラブではできない特徴あるクラブを設立することができることから、多くの地区で取り組んでいることと思います。既存のクラブ内で会費を抑え、会員数を増やす方法として、2830 地区で昨年以來取り組んできたことは、クラブ独自の正会員の種別を多様化することです。ファミリー会員、後継者会員、シニア会員、特別会員など、これまでは会費負担が大きく、正会員へのハードルが高かった方を会員としてお迎えできる方策の 1 つです。導入に当たっては、クラブ細則を改正する必要があるため、クラブ細則の改正案を作成しました。

My ROTARY のラーニングセンターの左上「ユーザーメニュー」に「学習トピック」という項目があります。下の方にスクロールして、「もっと読み込む」をクリックして進んで行くと「柔軟性を取り入れたクラブ細則の実例」というタイトルで、細則案を掲載しています。RI 日本事務局の尾畑さんにアップしていただきましたので、導入を検討しているクラブは是非ご参照下さい。



<https://learn.rotary.org/members/share/asset/view/137278>

アクセスには My ROTARY へのログインが必要です。

## 第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 古川 静男（松本西南 RC）

ロータリー財団では、日本から海外へ留学する学生のためにグローバル補助金を利用した奨学金制度を準備しています。このグローバル補助金による奨学金を利用できるのは、ロータリーの7つの重点分野のいずれかに該当する分野を専攻することが条件となっており、①平和構築と紛争予防、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥地域社会の経済発展、⑦環境のいずれかに該当する必要があります。

グローバル補助金による奨学生の数は、2010年から2023年の13年間で合計421名（年平均32名）となっています。コロナ禍で一時減少しましたが、直近5年間では、



令和6年度50名、令和5年度49名、令和4年度39名、令和3年度37名、令和2年度82名となっていました。グローバル補助金による奨学金制度は、2013年に「未来の夢計画」としてロータリー財団の補助金制度が大幅に変更されて誕生したのですが、それ以前は「国際親善奨学金制度」というものがあり、7つの重点分野に限定されずに、音楽、芸術、文学、建築、エンジニア、自然科学、宇宙工学、経済、法学、心理学、IT等、様々な分野の学生が対象となっていました。この「国際親善奨学金制度」は1947年からスタートしましたが、2013年までの65年間で延べ8,299名（年平均128名）の留学生在がこの奨学金を利用していました。国際親善奨学金制度がなくなり、新たに「グローバル補助金」と「地区補助金」が誕生しましたが、「グローバル補助金」は7つの重点分野により限定されたことや、「地区補助金」は各クラブでの利用が進んだため、奨学金に回る金額が少なくなり、日本からの海外留学生は以前に比べて大幅に減少しました。

この状況を憂慮した日本ロータリー学友会（元留学生で組織する地区学友会の連合体）は、2024年11月に開催された総会において、財団奨学生を増やしてほしいという「提言」を発表しました。この「提言」では、「日本や世界の未来を担う意欲ある日本の若者に、グローバル補助金の7つの重点分野に限らず、地区補助金を利用して、他のあらゆる分野を学ぶ学生に奨学金を与えて欲しい」というもので、地区補助金を利用した奨学生支援を訴えていました。

日本ロータリー学友会が2024年と2025年に34地区に実施したアンケート調査によりますと、2013年から2023年までの11年間に、地区補助金を利用して海外へ留学生を送り出した地区は34地区中16地区（1地区未回答）あり、総数は194名（年平均18名）に留まっていました。約半分の地区が、地区補助金を利用した奨学金制度を利用していないことが判明しました。アンケートでは、利用していない理由として、「募集可能を知らなかった」「検討したことがない」「重点分野が要件と思っていた」という回答と共に、「地区補助金をクラブ補助金等、他の目的で使用しているため奨学金として回せる金額がない」という回答が多くみられました。

昨今の日本人留学生の実情をみますと、円安が進み、渡航費や滞在費など経済的負担が大きくなってきています。また、海外では留学生の授業料が高く設定されていて、アメリカ約1.5倍、カナダ約2倍、フランスなどは約15倍にもなっており、留学環境は年々厳しさを増している実情があります。資金調達でも「自費・仕送り」が大半を占めており、奨学金の利用が極めて少ないということで、経済的に余裕のある家庭の子供しか留学出来ないという状況が見受けられるようです。日本の学生により国際感覚を磨いてもらい、世界で活躍するリーダーとなってもらうためにも留学は貴重な体験であり、ロータリーの力で様々な分野の国際人を養成していくことはより重要性を増しているのではないかと思います。当地区では、現在地区補助金を利用して留学生を送り出していないのですが、より多くの学生がロータリー財団の奨学金を利用して留学できる方法を検討していくことも重要ではないかと考える次第です。

### 第3地域 ローター財団地域コーディネーター補佐 吉田 知弘（福岡東 RC）

この度、全国のロータリアンの皆様へ広くレターを差し上げる機会を賜り、大変ありがたく存じます。私は、第3地域ローター財団地域コーディネーター補佐として、九州4地区の担当を仰せつかっております。会員の皆様からの寄付増進を図り、ロータリー活動の礎を創ることを役割と認識し、微力ながらも貢献できればと願っております。そのような立場から、ロータリーの諸活動に関して思うところを少しでもお伝えしたいと思い、本稿を寄せます。

ロータリーの発展は、しばしば3つの要素（奉仕プロジェクト、公共イメージ、会員増強）のスパイラルによって支えられると説明されます。たしかに、①意義深く効果的な奉仕プロジェクトにより社会をよりよい状態へと導くことができれば、その実践を通じてロータリーが好意をもって社会に認知されます。②その好感度の高まりは、パートナーシップとエンゲージメントの機会を広げると同時に、メンバーの自尊心と積極的な参加意欲を高め、結束力の高まりを通じてクラブとロータリーを一層魅力的な存在へと向上させます。③このような成果の集積により、クラブ拡大と会員増強もよりよく達成されます。



この3つの要素が好循環のスパイラルを描き出す様子をイメージすると、ロータリー活動にも取り組む意欲も自ずと増すことでしょう。その一方で、意義あるロータリーの諸活動がローター財団への寄付によって支えられていることを忘れてはなりません。その意義をご理解いただき、是非とも寄付の増進にご理解とご協力を賜りたいと願っております。

さて、こうしたロータリーの重要な取組の一つである「ロータリー平和センター」をご紹介させてください。これは平和学に優れた大学の中に「ロータリー平和センター」を設け、世界からの留学生（ロータリー平和フェロー）を招き入れて、積極的な平和構築のエキスパート（Peace Builder）として養成し、そのスキルを高めて世界に送り出してゆく活動です。2002年にスタートし、現在では世界に8か所、うち1つが日本の国際基督教大学に設置されています。

現在、注目を集めるイランのホルムズ海峡の封鎖問題をはじめ、国際的な武力紛争が随所で頻発しており、国際情勢は極めて不安定で危機的な状況にあります。こうした国際情勢をみるにつけ、平和への取組の重要性を思わずにはいられません。平和構築の専門家を養成する平和センターの取組は、一層その重要性を増していると思われます。

国際基督教大学の平和センターのことは、これを支えるホストエリア（首都圏7地区）の外に出るとなかなか周知されない状況にあることは否めません。よくご存じの方もそうでない方も、本稿をご覧いただきましたら、是非ネットの検索エンジンで「ロータリー平和センター」を検索してみてください。その充実した取組の内容をご確認いただけることと思います。

## 3月会員数・例会数報告

グループ	クラブ名	例会数	会員数			
			2025.7.1	2026.3.31	増減	内女性
1	深川	3	28	28	0	2
	羽幌	3	33	31	-2	2
	留萌	3	22	23	1	4
	小計		83	82	-1	8
2	赤平	4	20	19	-1	3
	芦別	2	27	27	0	1
	砂川	3	41	40	-1	2
	滝川	3	82	80	-2	7
	小計		170	166	-4	13
3	美唄	3	21	21	0	2
	江別	4	32	35	3	2
	江別西	2	31	29	-2	1
	岩見沢	3	89	92	3	2
	岩見沢東	2	9	9	0	0
	栗沢	3	13	13	0	0
	栗山	3	22	23	1	4
	当別	3	27	27	0	3
小計		244	249	5	14	
4	札幌幌	3	105	116	11	3
	札幌はまなす	4	27	29	2	3
	札幌北	2	31	34	3	6
	札幌モーニング	2	34	32	-2	0
	札幌西	4	44	45	1	9
	札幌西北	3	28	29	1	5
	札幌手稲	3	31	30	-1	3
	小計		300	315	15	29
5	札幌東	3	95	92	-3	2
	札幌清田	2	9	9	0	3
	札幌幌南	3	59	59	0	6
	札幌真駒内	3	18	18	0	5
	札幌南	2	74	74	0	4
	札幌大通公園	2	13	13	0	3
	札幌ライラック	2	11	11	0	1
	新札幌	3	19	23	4	6
小計		298	299	1	30	
6	岩内	3	30	30	0	1
	倶知安	2	34	33	-1	4
	小樽	4	73	73	0	5
	小樽南	3	49	51	2	5
	小樽銭函	3	10	10	0	1
	蘭越	3	7	7	0	0
	余市	3	38	39	1	4
	小計		241	243	2	20

## 3月会員増減数

クラブ数	67
期首会員数	2,249人
当月末会員数(女性)	2,274人(203人)
増加会員数	25人

グループ	クラブ名	例会数	会員数			
			2025.7.1	2026.3.31	増減	内女性
7	千歳	3	78	73	-5	11
	千歳セントラル	3	41	42	1	9
	恵庭	4	41	43	2	4
	北広島	3	18	17	-1	3
	長沼	3	16	16	0	3
	小計		194	191	-3	30
8	えりも	2	16	15	-1	1
	三石	3	10	10	0	0
	様似	2	5	5	0	1
	静内	3	55	53	-2	5
	浦河	3	21	23	2	3
	小計		107	106	-1	10
9	伊達	3	53	51	-2	2
	室蘭	2	26	27	1	4
	室蘭東	2	29	28	-1	2
	室蘭北	4	45	45	0	1
	登別	4	31	31	0	2
	洞爺湖	2	11	9	-2	0
小計		195	191	-4	11	
10	函館	4	66	65	-1	5
	函館亀田	3	29	29	0	3
	森	2	30	31	1	2
	七飯	3	14	14	0	0
	長万部	2	9	9	0	0
	函館セントラル	4	26	26	0	2
小計		174	174	0	12	
11	江差	2	10	10	0	0
	函館五稜郭	3	46	53	7	2
	函館東	3	32	36	4	5
	北斗	4	12	12	0	0
	小計		100	111	11	7
12	白老	3	28	31	3	4
	苫小牧	4	57	58	1	4
	苫小牧東	4	30	30	0	9
	苫小牧北	3	28	28	0	2
	小計		143	147	4	19
合計		2,249	2,274	25	203	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数18名(内女性会員1名)を含む

※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数5名(内女性会員3名)を含む

※函館五稜郭RCには五稜郭すずらんロータリー衛星クラブの会員数6名(内女性会員0名)を含む

## 地区カレンダー 5月・6月

5月 青少年奉仕月間	
1 (金)	
2 (土)	
3 (日)	憲法記念日
4 (月)	みどりの日
5 (火)	子どもの日
6 (水)	振替休日
7 (木)	
8 (金)	
9 (土)	第8グループIM(えりも)
10 (日)	RLIセミナー卒後コース・修了式(札幌)
11 (月)	
12 (火)	
13 (水)	
14 (木)	
15 (金)	第23回RYLAセミナー(洞爺湖)～17日
16 (土)	第12グループIM(苫小牧)
17 (日)	第1グループIM(羽幌)
18 (月)	札幌北RC創立55周年記念式典
19 (火)	
20 (水)	
21 (木)	
22 (金)	
23 (土)	当別RC創立50周年記念式典
24 (日)	
25 (月)	
26 (火)	
27 (水)	
28 (木)	
29 (金)	
30 (土)	第7グループIM(北広島) ローターアクト第53回地区大会/赤平RAC創立50周年記念式典
31 (日)	

6月 ローター親睦活動月間	
1 (月)	
2 (火)	
3 (水)	
4 (木)	
5 (金)	
6 (土)	
7 (日)	
8 (月)	
9 (火)	
10 (水)	
11 (木)	
12 (金)	
13 (土)	国際大会(台湾・台北)～17日 余市RC創立65周年記念式典
14 (日)	
15 (月)	
16 (火)	
17 (水)	
18 (木)	
19 (金)	
20 (土)	
21 (日)	現新引継会議(札幌)
22 (月)	札幌南RC創立70周年記念式典
23 (火)	
24 (水)	
25 (木)	
26 (金)	
27 (土)	
28 (日)	
29 (月)	
30 (火)	

## 新会員のご紹介

(敬称略)

札幌モーニング RC



赤坂 真一郎

令和 8 年 4 月 1 日  
建築設計

千歳 RC



上野 明

令和 8 年 4 月 9 日  
旅客サービス

千歳 RC



湯浅 伸哉

令和 8 年 4 月 9 日  
ガス事業

岩見沢 RC



大内 英人

令和 8 年 4 月 16 日  
普通銀行

千歳 RC



那須田 哲司

令和 8 年 4 月 16 日  
ハンドリング  
・旅客サービス

※入会順

## 例会場変更のお知らせ

### 森ロータリークラブ

〒049-2325  
茅部郡森町字本町 6-22  
森商工会議所 2階

TEL : (01374) 2-2432

※例会時間並びに例会日につきましては  
変更ございません。



# 文庫通信



## 文庫通信 397号：国連（United Nations）とロータリー

- 「創造の場に立ち会う（ロータリアン誌3月号より）」ロータリアン誌編集部/友：1995・4月/5P
- 「第36回国際大会議事録 抜粋「リチャード・ウェルズ会長報告より：国連会議」（RI 非公式 AI 参考訳）」  
リチャード・ウェルズ/1945/RI./4P
- 「FROM HERE ON! : (国連憲章の条文をロータリアン向けに解説した冊子) (RI 非公式 AI 参考訳)」1945/RI./126P
- 「ロータリーと国際連合」亀井昭伍/友：1966・3月/2P
- 「UN（国際連合）を如何に變えるべきか」討議  
(カルロス P.カムロ・ワン ワイタヤコン殿下・ウオレン R.オースチン・レスター B.ピアソン/友：1995・3月/2P)
- 「国連の新しい方向を探る ～デグヤル前国連事務総長とのインタビュー～（ロータリアン誌3月号より）」  
ホルハ・ベライド/友：1995・5月/RI./2P
- 「Voices for PEACE 平和を求める声（THE ROTARIAN 2003年2月号より）」  
アンソニー G.グレン/友：2003・2月/RI./6P
- 「国連事務総長がロータリーに感謝（付：国際大会議事録のご挨拶原文(RI 非公式 AI 参考訳)）」  
潘基文/友：2009・8月/convention proceeding/RI./7P
- 「国連でのロータリーデー」RI.WEB サイト

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。  
参考訳は RI 非公式であり、私的翻訳または AI 翻訳のため正確ではないこともございます。あくまで参考とし「公式英文書」ご理解の一助としてご活用ください。

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森谷ビル別館6階  
TEL:03(3433)6456、FAX:03(3459)7506

## ガバナー事務所からお願い

### 1. クラブの例会数・会員数報告について

毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へ FAX かメールにて提出するようにお願い致します。

### 2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を添付の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、お写真を至急ご報告くださいますようお願い致します。

### 3. クラブの移動例会等について

地区ホームページにフォームがありますので、アクセスしてご連絡下さい。

地区ホームページ ⇒ 例会変更フォーム の順でアクセスできます。

(ホームページにアクセスが難しい場合は FAX、メールでお送り下さい)

### 4. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1～2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月5日です。(メールでのご連絡にご協力ください)